

粉

四年 筆順 10
オン ファン
クン こ・こな
半米 米粉 粉粉

成り立ち



↓ 粉 ↓ 粉 ↓ 粉 ↓ 粉 ↓ 粉

「米」と、「分ける」という意味の「分」を組み合わせ、
「米をうすてついでつぶし、こまかく分けたもの」とい
う意味の字で、「米の「こな」」の字を表した字です。

しかし、今では、米のこなにかぎらず、「こな」のよう
じょうたいのものは、すべて「粉」といいます。【例】粉
花粉。

「こまかくくだく」という意味に使われます。【例】粉砕
粉骨砕身。

また、「おしろい」の意味にも使われます。【例】脂粉（「お
しろい」のことを「白粉」と書いたため）。

使い方

▽わたしは花粉症です。スギの花粉が飛ぶ季節になると、
クシヤミがとまらなくなりました。また、スギの花粉だ
けでなく、ゴミの粉塵などでもクシヤミが出ます。何
か良い薬はないかなと思います。

▽むかしの物語を読むと、主人のために粉骨砕身して、
活躍した人がたくさん出て来ます。ぼくは誰か人のた
めに身を粉にして働いたということがないので、そう
いう人たちは、えらいなあと思います。

熟語例

- ▽粉乳（粉ミルク。牛乳の水分を蒸発させて粉にしたもの）
- ▽花粉（花の雄しべにできる粉。雌しべにつくと実がでます。）
- ▽粉砕（こまかく砕くこと。また、敵を粉みじんにやつけること。「敵軍を粉砕しよう」と総攻撃をかけた」などというふうには、つかいません。）
- ▽粉骨砕身（骨を粉にし、身を砕くような、大変な努力をすること。）

兵

四年 筆順 7
オン ハイ・ヒヨウ
クン

成り立ち



↓ 兵 ↓ 兵 ↓ 兵 ↓ 兵

「斧」の形を表し、「斧」の本字である「斤」と、手の
形を表した「ナ」とを組み合わせて作った字です。

むかしは、斧はどの家でもなくてはならない大切な道
具でした。毎日使う木を切るためですが、これが身をま
もるための「武器」としても使うことができたからでし
た。この字は、「武器としての斧を手を持つ人たち」を表
したもので、「下級の軍人」のことを表した字です。【例】兵
士、兵隊、衛兵。

「武器」の意味にも使います。【例】兵器、兵馬。
また、「戦争」の意味にも使われます。【例】兵火、兵法。

四年

使い方

- ▽ぼくはテレビで、バツキングダム宮殿の近衛兵を見まし
た。赤と金の制服を身につけて、交替の儀式を行う近
衛兵はとてもすてきて、ぼくも近衛兵になってみたい
くらいでした。
- ▽日本の国は平和ですが、世界の中には戦争を行ってい
る国があります。自分の国が戦火で焼け兵士として戦
っている人々の気持ちはどんなでしょう。一日も早く
地球上から兵火が消えるよう祈ってやみません。

熟語例

- ▽兵士（下級の軍人。戦争をする人）
- ▽兵隊（兵士と同じ意味です。）
- ▽衛兵（何かを守るための兵士。取締りや巡回を行う兵隊のことです。）
- ▽近衛兵（国王や天皇を守る兵士）
- ▽兵器（武器のこと。「秘密兵器」などというふうには、つかいません。）
- ▽兵馬（武器と馬。軍備・軍隊のことです。）
- ▽兵火（戦火。戦争によっておこる火事）
- ▽兵法（戦争の方法。「ヒヨウホウ」とも読みます。）

四年